

#### 4. 令和6年度高知県医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等 コーディネーター養成研修事業

|      |  |         |
|------|--|---------|
| 研修名  | 1) 医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修   |         |
| 開催日時 | 令和6年12月 3日(火) 4日(水) 支援者・コーディネーター合同   | 定員 100名 |
|      | 令和7年 1月16日(木)17日(金) コーディネーター研修のみ   | 定員 30名  |
| 研修形態 | 令和6年12月 3日(火) 4日(水) 支援者・コーディネーター合同   | オンライン   |
|      | 令和7年 1月16日(木)17日(金) コーディネーター研修のみ   | 集合      |
| 参加人数 | 令和6年12月 3日(火) 4日(水) 支援者・コーディネーター合同   | 40名     |
|      | 令和7年 1月16日(木)17日(金) コーディネーター研修のみ   | 10名     |
| ねらい  | <p>医療的ケア児等支援者養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等の発達や疾患等の特徴を理解し、対象者のライフステージに応じて必要な支援について学ぶ</li> <li>保健、医療、福祉、その他の関係機関との連携について理解する</li> </ul> <p>医療的ケア児等コーディネーター養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等の発達や疾患等の特徴を理解し、対象者のライフステージに応じて必要な支援について学ぶ</li> <li>保健、医療、福祉、その他の関係機関との連携について理解する</li> <li>事例を基に、ニーズの把握、当事者の意向に沿った計画作成と関係機関との調整ができる</li> </ul> |         |
| 講師   | プログラム参照  |         |
| 内容   | <p>合同研修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療的ケア児の支援に必要な基本的知識</li> <li>2) 支援体制の枠組み・整備と連携</li> <li>3) 本人・家族の思いと本人・家族をとりまく環境</li> <li>4) ライフステージにおける支援</li> </ol> <p>コーディネーター研修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 支援計画作成の実際</li> </ol>  |         |

##### 1. プログラム

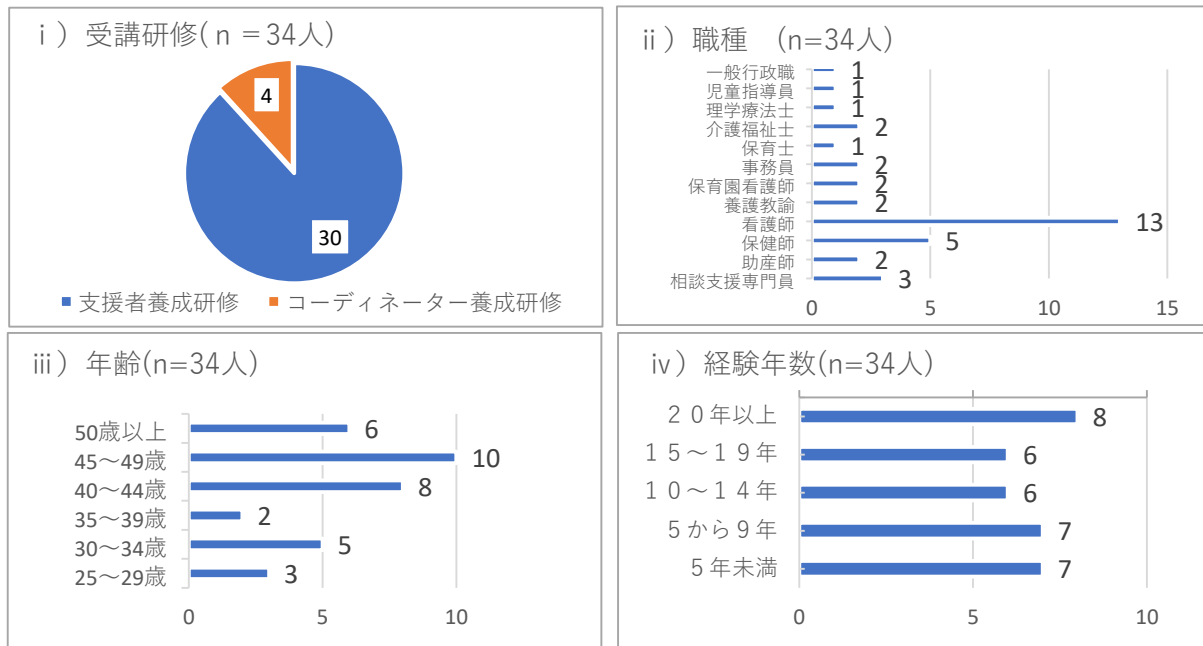
| 研修名           | 日程  | 研修内容                                   | 講師等   | 日程                      | 研修内容  | 講師等                 |   |  |
|---------------|---|--|---|-------------------------|---|---------------------|---|--|
| 医療的ケア児支援者養成研修 | 8:00~8:30   | 受付                                     |   | 2<br>月<br>4<br>日<br>(水) | 8:00~8:30   | 受付                  |   |  |
|               | 8:30~8:35   | オリエンテーション                              |   |                         | 8:30~10:00  | 1.5時間               | ●総論<br>医療的ケア児等の地域生活を支える医療的ケア児等のコーディネーターに求められる資質と役割<br>●支援に必要な概念                                   | 高知県立大学看護学部<br>小児看護学<br>助教 田之頭 恵里 氏             |
|               | 8:35~9:00   | あいさつ<br>高知県の医療的ケア児の現状と取り組み<br>母子保健について | 高知県子ども・福祉政策部 障害福祉課  |                         | 10:00~10:10   | 休憩(10分)             |   |  |
|               | 9:00~11:00  | 2時間                                    | ●医療1<br>障害のあるこどもの成長と発達の特徴<br>疾患の特徴、生理、救急時の対応  |                         | 10:10~11:10   | 1時間                 | ●福祉 虐待について  | 中央児童相談所<br>初期対応部長 北村 綾子 氏                      |
|               | 11:00~11:15   | 休憩(15分)                                |   |                         | 11:10~11:20   | 休憩(10分)             |   |  |
|               | 11:15~12:15   | 1時間                                    | ●本人・家族の思いの理解 1<br>本人・家族の思い、意思決定支援<br>ニーズアセスメント  |                         | 11:20~12:20   | 1時間                 | ●本人・家族の思いの理解 2<br>本人・家族の思い、意思決定支援<br>ニーズアセスメント  | 大杉保育所 所長 鎌倉 真紀 氏<br>地域相談支援センターしゃくなげ<br>田岡 香織 氏 |
|               | 12:15~13:15   | 昼食休憩(1時間)                              |   |                         | 12:20~13:10   | 昼食(50分)             |   |  |
|               | 13:15~14:45   | 1.5時間                                  | ●医療的ケアに必要な高い子ども等の<br>特徴及び支援<br>在宅移行支援<br>●ライフステージにおける支援<br>各ライフステージにおける相談支援に<br>必要な視点             |                         | 13:10~15:10   | 2時間                 | ●福祉<br>支援の基本的枠組み福祉の制度<br>遊び・保育、家族支援   | 高知県立大学社会福祉学部<br>教授 西内 章 氏                      |
|               | 14:45~14:55   | 休憩(10分)                                |   |                         | 15:10~15:20   | 休憩(10分)             |   |  |
|               | 14:55~16:55   | 2時間                                    | ●連携<br>小児在宅医療における多職種連携<br>連携・協働の必要性   |                         | 15:20~15:50   | 30分                 | ●労働(就労)1  | CIL(自立生活センター)道のり<br>コンサルタント 小嶋 友乃 氏            |
|               | 16:55~17:05   | 休憩(10分)                                |   |                         | 15:50~17:30   | 1時間40分<br>(休憩10分含む) | ●支援体制整備<br>支援チーム作りと支援体制整備<br>支援体制整備<br>医療・保健・福祉・教育・労働の連携<br>地域の資源開拓・創出方法<br>(資源把握、市町村・都道府県との連携)   | 相談支援事業所 ほしつなぎ<br>相談支援専門員<br>永吉 納美 氏            |
|               | 17:05~18:05   | 1時間                                    | ●医療2<br>訪問看護のしくみ  |                         | 17:30~18:30   | ●労働(就労)2            |   | 高知障害者職業センター<br>所長 井上 暲 氏                       |
|               | 18:30~18:40   | 医療的ケア児等支援者養成研修 閉講式                     |   |                         | 18:30~18:40   | 医療的ケア児等支援者養成研修 閉講式  |   |  |
|               | 3<br>日<br>目<br>令和<br>7年<br>1<br>月<br>16<br>日<br>(木) | 8:30~9:00                              | 受付  |                         | 4<br>日<br>目<br>令和<br>7年<br>1<br>月<br>17<br>日<br>(金) | 8:30~8:45           | 受付  |  |
| 9:00~12:30    |   | ●演習 計画作成                               | 講師<br>福岡県医療的ケア児支援センター<br>医療的ケア児等コーディネーター兼<br>トータルアドバイザー 横田 信也氏<br>土佐希望の家医療福祉センター<br>相談支援専門員 林 恵 氏 | 8:45~12:15              |   | ●演習 事例検討            | 講師<br>福岡県医療的ケア児支援センター<br>医療的ケア児等コーディネーター兼<br>トータルアドバイザー 横田 信也氏<br>土佐希望の家医療福祉センター<br>相談支援専門員 林 恵 氏 |  |
| 12:30~13:30   |   | 昼休み                                    |   | 12:15~13:15             |   | 昼休み                 |   |  |
| 13:30~17:00   |   | ●演習 計画作成                               | 講師・ファシリテーター<br>相談支援事業所 ほしつなぎ<br>相談支援専門員 永吉 納美 氏<br>他 調整中  | 13:15~16:45             |   | ●演習 事例検討            | 講師・ファシリテーター<br>相談支援事業所 ほしつなぎ<br>相談支援専門員 永吉 納美 氏<br>高知市子ども未来部子ども育成課<br>和田 有利子 氏                    |  |
|               |   |  |   | 16:45~17:00             | 修了式   |                     |   |  |

### 3. アンケート結果

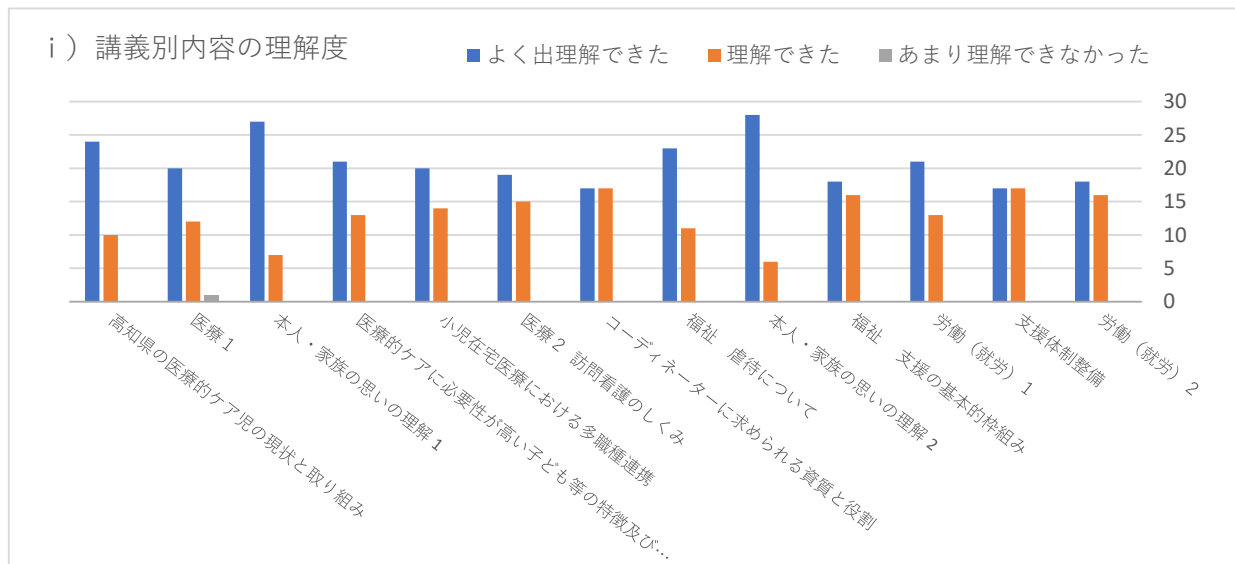
#### (1) 医療的ケア児等支援者・コーディネーター養成合同研修

アンケート回答数 34名 回答率 85.0%

##### ① 属性

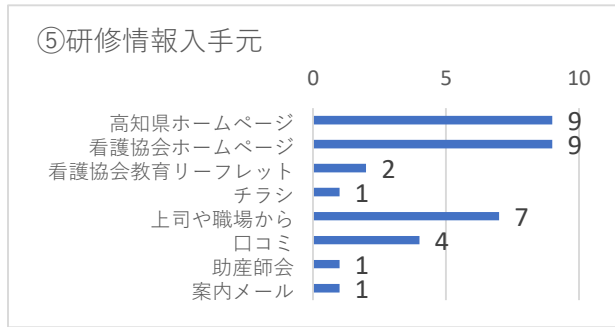
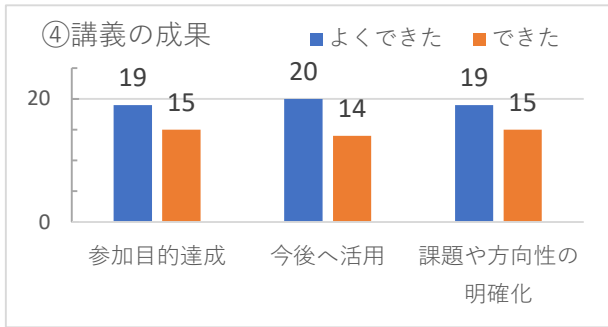


##### ② 研修内容について



##### ③ 参加目的(記述式)

- ・ 医療的ケア児に日々関わるためより理解を深めるため(10件)
- ・ 現場の実践で医療的ケア児やその家族の支援に活かすため(10件)
- ・ 在宅医療を必要とする児を支援する体制やコーディネーターの役割を学びたかった(3件)
- ・ 今後医療的ケア児に携わる可能性があるため(10件)
- ・ 地域で、母子に関わる時に、役立てるため
- ・ 今後の地域の体制も検討が必要であると感じているため
- ・ 医療的ケア児の訪問看護に興味があり、勉強したいと思った
- ・ 相談支援、コーディネーター業務に関わりたいと考えている(2件)
- ・ 養護教諭としていつか支援する立場になるのではないかと感じたため

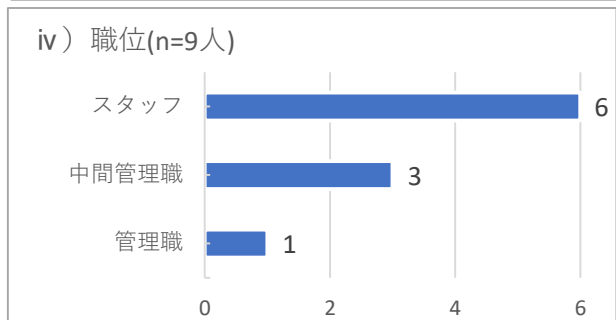
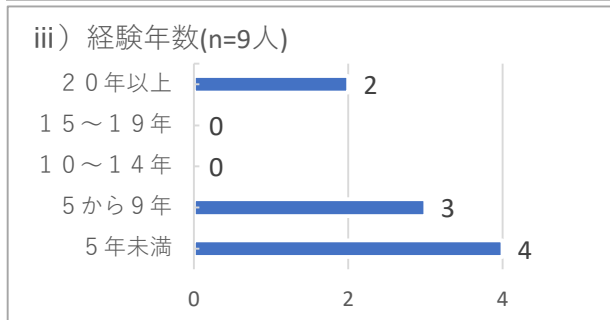
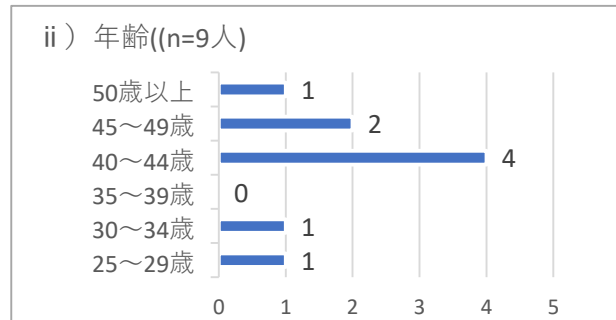
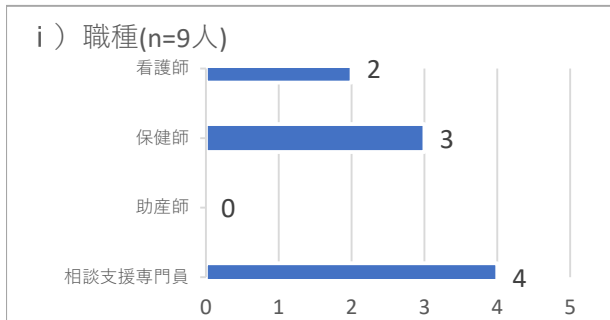


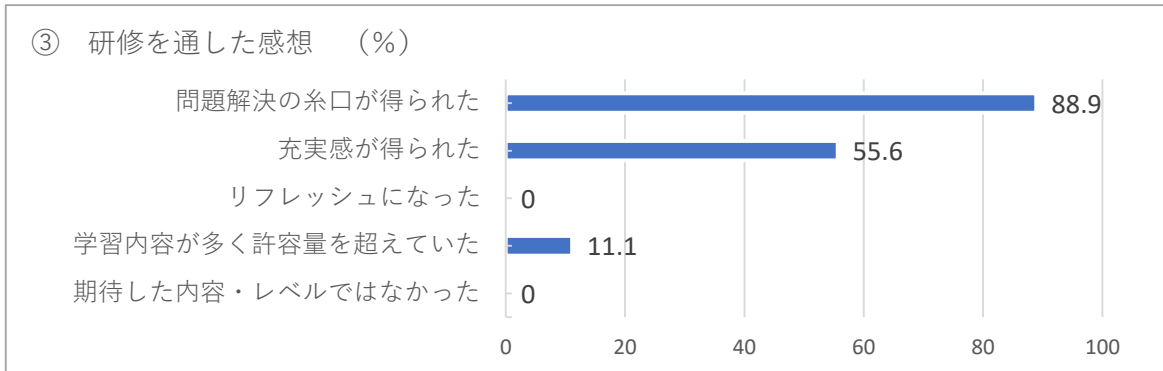
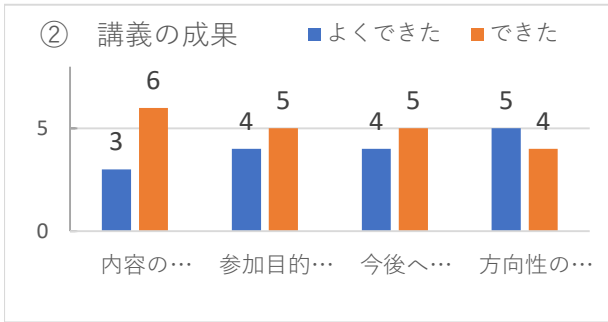
⑥ 全体の研修の感想及び今後への意見

- ・様々な職種の講師の先生方に貴重なお話をお聞かせいただき、大変勉強になった(9件)
- ・自分も研鑽を積んでいきたいと思った
- ・医療的ケア児以外に、家族看護全般についても講義を入れて頂けたらと思った
- ・実際の取り組みや事例や当事者の声をご紹介いただき、イメージが湧きやすかった(5件)
- ・病気の機序や症状だけでなく、支援する側としてのスタンスも教えて頂けて良かった
- ・小児の医ケアを担える資源を増やす、人脈関係作りなどの必要性を感じた
- ・チームで共有しながら、よりよい支援体制ができるように尽力していきたいと思う
- ・出産後から相談にいらっしゃるまでのお子さんの経過がイメージできた
- ・日々の仕事に活かしていきたいと思う (3件)
- ・チーム支援や虐待対応など現業務と重なる部分もあり大変勉強になった
- ・コーディネーター研修には参加できない規定ですが参加できればありがたい(2件)
- ・支援者研修とコーディネーター研修を分けてほしい
- ・今後の研修では、国の医療的ケア児支援に関する保険点数等なども学べればと思う

(2)医療的ケア児等コーディネーター養成研修 アンケート 回答数 9名 回答率 100%

①属性





④ 全体の研修の感想及び今後への意見

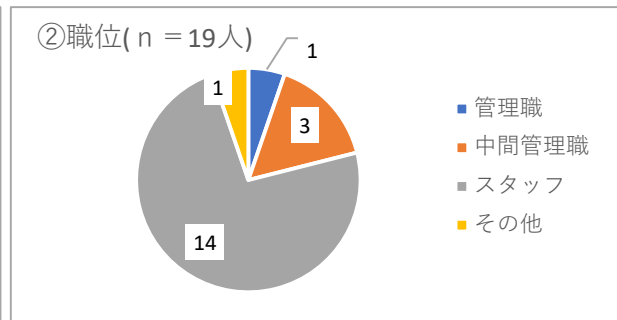
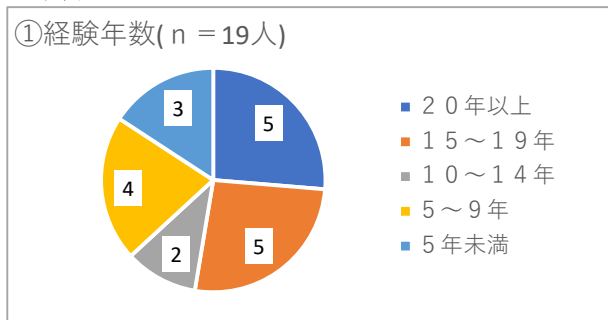
- ・ 医ケアのおおさんは担当した事がないですが、どういう視点で捉え関わっていけばいいのか勉強になった
- ・ 日々の業務にも共通して考えていくことも多く、大変勉強になりました
- ・ 演習が楽しかった。具体的な事例を検討検討でき、ケースのそれぞれのライフステージでの支援についてイメージすることができた

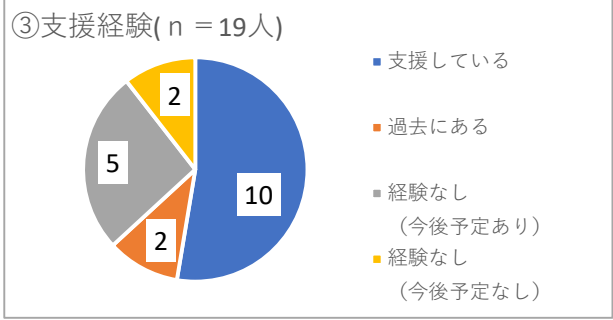
|      |   |   |          |
|------|---|---|----------|
| 研修名  | 2) 医療的ケア児等のための看護技術研修  |   |          |
| 開催日時 | 第1回 令和6年 9月22日(日)   | 各回 定員 12名                                       | 参加人数 11名 |
|      | 第2回 令和6年11月24日(日)   |   | 参加人数 12名 |
| 研修形態 | 集合 実技演習   |   |          |
| ねらい  | 医療的ケア児と家族の支援に必要な看護技術について学ぶ  |   |          |
| 講師   | あおぞら診療所 高知潮江<br>高知県立大学看護学部<br>こうち看護協会訪問看護ステーション<br>高知中央訪問看護ステーション | 所長 松本 務 氏<br>助教 田之頭 恵里 氏<br>島内 さざり 氏<br>長野 良江 氏 |          |
| 内容   | 講義・実技演習<br>医療的ケア(吸引、気管カニューレ管理、経管栄養法管理)について                        |   |          |

1. アンケート結果

※アンケートはGoogleフォームで実施 重複回答含むアンケート 回答数 19 名 回答率 82.6%

1) 属性



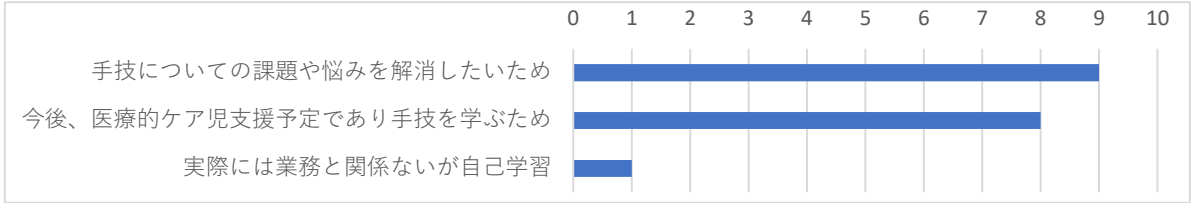


2) 研修内容について

i) 研修が職務に活かせる内容であったと回答された理由

- ・ 小児領域の経験が浅いため
- ・ 今後も医療的ケア児が増え、地域でも対応が必要な方が増えてくるから
- ・ 事業所に研修内容の医療的ケア児が利用されてるから
- ・ 実際の実技をみせてもらい、体験させてもらい、保護者の大変さを知ることができたから
- ・ 実際の実技演習があったのでわかりやすい(4件)
- ・ 個別例を踏まえた内容があり、わかりやすかった
- ・ とても実践的で、日頃の疑問にも対応して頂けた(3件)
- ・ 他の受講生等から実践されている方の話も聞けたため(3件)
- ・ 災害時に電気なしで吸引する方法や気切カニューレ等が抜けてしまったときの対応が学べた

ii) 本研修を受講された主な目的(n=27人)



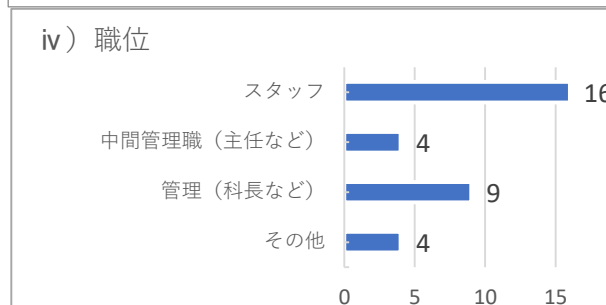
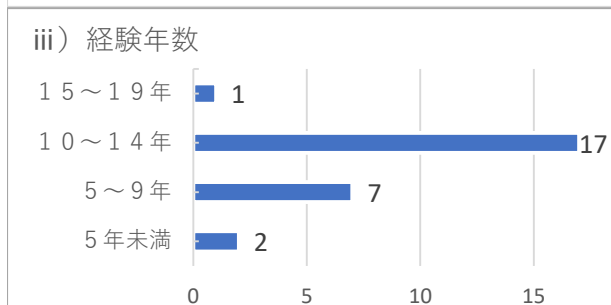
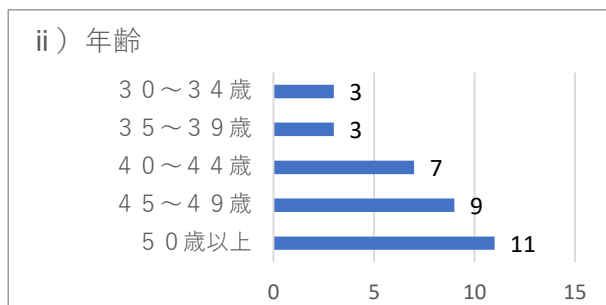
### 3) 研修全般(事前学習動画、教材含む)についての感想、ご意見

- ・ 事前学習動画はとても勉強になる内容だった (3件)
- ・ 今後も振り返りとして動画を見て学びたい
- ・ 少人数のグループで一人ひとり実際に手技が体験でき良かった(2件)
- ・ 講師の方にすぐに直接に質問もできて学びが深まった
- ・ 他の事業所や別の立場の方からも話が聞けたので良かった (2件)
- ・ 実際に体験することで、普段気が付かない視点にも気がつくことができた
- ・ 自分の手技の確認、緊急時対応の仕方、細かな手技内容を知ることができた
- ・ 医療事故につながる事例等、留意事例があれば紹介してほしい
- ・ 小児の皮膚トラブル対策・ストーマ管理、難病・先天性疾患児の看護などを学びたい

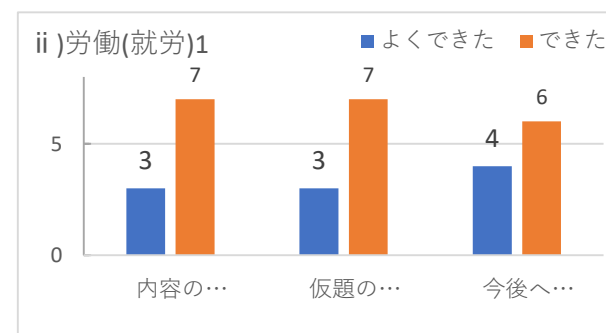
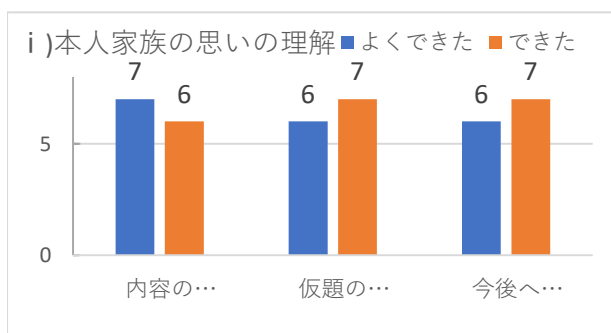
|       |  |                         |
|-------|--|-------------------------|
| 研修名   | 3) 令和6年度 高知県医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修   |                         |
| 開催日時  | 令和7年3月3日(月)～3月17日(月)   | 参加人数 19名(会員 2名 非会員 17名) |
| 研修形態  | 研修映像視聴   |                         |
| ねらい   | 医療的ケア児等支援者及び医療的ケア児等コーディネーターのスキルアップを図る  |                         |
| 内容・講師 | ①本人・家族の思いの理解2 本人・家族の思い、意思決定支援、ニーズアセスメント<br>大杉保育所 所長 鎌倉 真紀 氏 地域相談支援センターしゃくなげ 田岡 香織 氏<br>②労働(就労)1 CIL(自立生活センター)道のり コンサルタント小嶋 友乃 氏<br>③労働(就労)2高知障害者職業センター 所長 井上 量 氏 |                         |

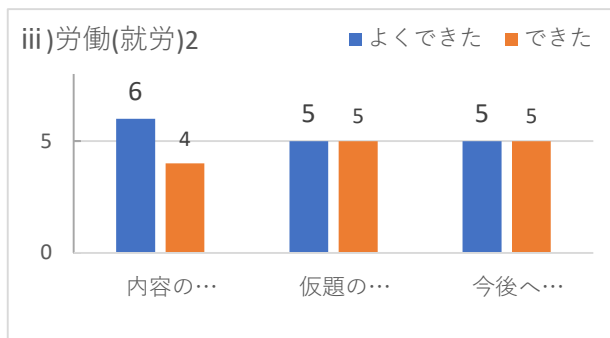
(2)医療的ケア児等コーディネーター養成研修 アンケート 回答数 9名 回答率 100%

#### ①属性



#### ②講義の成果





### ③研修の感想

#### i) 本人家族の思いの理解

- ・福祉や医療等の資源が限られている地域で医ケア児の支援構築は大変だと感じました。
- ・地域の繋がりや多職種連携が大きな鍵になると思います。
- ・人材確保や人材育成について組織的な取り組みが必要であると感じました。(3名)
- ・本人や家族に沿った支援の必要性と難しさを改めて考えさせられました。(2名)
- ・実地関係者だけでなく、それを支援して下さる方々のサポートに支えられていると感じた。
- ・連携には、定期的な支援会の開催と関係者全員が合意が大切だと痛感した。
- ・実際にどのような経過があったのかを知ることができて良かった。

#### ii) 労働(就労)1

- ・障害の重症度に関わらず、様々なフォーマル・インフォーマルなサービス選択の必要性を再認識しました。
- ・ご本人、支援者の方々の頑張りが素晴らしいです。
- ・障害があってもその人がその人らしく自分が選ぶ地域で生活・就労できることが、地域共生社会に繋がっていくと思います。
- ・自身が選ぶ生活就労支援も含めてコーディネーターの役割を改めて考えさせられました。

#### ii) 労働(就労)2

- ・就労に向けた様々な助成があることを知り、必要に応じて適切に活用していく必要性を感じた。
- ・就労者の基本的な健康管理や清潔など幼児から関われるポイントについても意識して現場で取り組みたいと思いました。
- ・日常、身体障害の方が就労されているのを見かける機会は、他の障害手帳の方々と比べると少ないように思います。
- ・コロナ禍後、オンライン在宅就業が普及しました。障害があっても伴走支援できるよう学んでいきたいと思っています。
- ・障害者の就労や社会参加、自己実現がより可能な世の中になるといいと思います。
- ・軽度から重度まで幅広く受け入れてもらえる支援体制や特例子会社の情報が知れた。

### 研修担当者より

本年度は、厚生労働省より「医療的ケア児等支援者養成研修」のカリキュラム改正に伴い、研修プログラムの構成変更が必要となった。

高知県の課題として、医療ケア児等の支援可能な訪問看護ステーション・看護師等が中央に集中しており、郡部での支援体制構築が課題となっている。

今後も、研修等で医療ケア児等支援者・コーディネーターを育成すると共に、それらのネットワーク及び支援体制の構築に努めたい。